

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・後期・A群	
	対象学科・専攻	都市環境デザイン工学科	
地学 (Earth Science)	担当教員	丸山 文男 (Maruyama, Fumio)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟2階 非常勤講師控室 (TEL: 42-9125)	
	E-Mail		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 15回		
[本科目の目標] 地学は身近な自然現象(地震・火山活動・気象・海洋等)や地球の生い立ち、生命の歴史や進化、天文・宇宙等の多様な基礎知識を学習し探求する総合科学である。地学現象の一端に触れ、科学的な思考力や自然観を身につけ、グローバルな視点にたった災害予知、安全防災、環境改善、資源利用等の考察や対処能力の育成を目標とする。			
[本科目の位置付け] 自然災害に対処する場の多い本学科と地学は学問的に密接な関係にある。地球の歴史や環境、自然界のさまざまな現象の基礎知識を身につけ、総合的に理解し研究することは本学科の学生に非常に有意義である。			
[学習上の留意点] 本来105時間で学習する教科書である。教科書の1/3程度の内容しか学習できないがポイントをしっかりと確認すること。地学に関する新聞記事やトピックスを収集すること。小單元ごとに課題を与え提出させるのできちんと解き、学習内容を再チェックすること。キーワードなどをよく理解し定期考査に臨むこと。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
各節の学習が終わる毎にその範囲の基本問題や発展的問題を網羅した課題を配布し、復習できる。 また、提出させ添削・採点し返却する。			
第1章 わたしたちのすむ地球 第1節 生命の星—地球 1. 生命をはぐくむ地球 2. 地球のすがた 3. 地球の形	3	<input type="checkbox"/> 太陽系内で唯一生命が存在する星といわれるわれらの地球。陸地と海、大気はどのようにして作られたかなど、現在の地球環境が作られたあらしを理解できる。	第1章 わたしたちのすむ地球 第1節 教科書P6~11 課題 1
第2節 地球の内部 1. 地球表面をおおうプレート 2. 地球内部の構造 3. 地球の構成物質 4. 地球内部の熱 5. 火成岩の産状と組織 6. 火成岩の種類 7. マグマの発生と分化	6	<input type="checkbox"/> 直接見たり触れたりすることのできない地球の内部はどのようになっているか。またどのようにして内部が分かかってきたかを知り、地震で発生する地震波の分析や、地球の内部のマグマと火成岩の関係、組織等について理解できる。	第2節 教科書P12~23 課題 2
---後期中間試験---		第1章 第1節~第2節について達成度を評価する。	
第3節 火山と地震 1. 火山の活動 2. 火山の地形 3. 火山の分布 4. 地震の動き 5. 震源断層と地震に伴う現象 6. 地震の分布	6	<input type="checkbox"/> 日本は地震国であり、火山国であり、火山の噴火や地震がおこるたびに、大きな災害が起こる。火山の活動や地震の起こる仕組みを理解できる。また安全防災について認識できる。	第3節 教科書P28~39 課題 3
第2章 地球のおいたち 第1節 地表の変化 1. 山々のすがた 2. 広がる平野 3. 海底のようす 4. 地層の形成	4	<input type="checkbox"/> 地球の表面に見られる地形は、大地の変動や火山活動が繰り返され、大気や水のはたらきで変化してきた。現在も、山々や平野は、徐々にその姿を変えている。この変化のありさまについて理解できる。	第2章 地球のおいたち 第1節 教科書P50~57 課題 4
>>> 次頁へつづく >>>			

